暮らしのDX

VR訓練による消防団員の災害対応能力向上や迅速かつ的確な被災者支援を実現するため、県と市町村で被災者支援システムを共同導入しました。

【火災対応VR訓練】

消防団技術向上動画を
Youtubeにて公開中

VR訓練の様子





[VR訓練利用者実績]

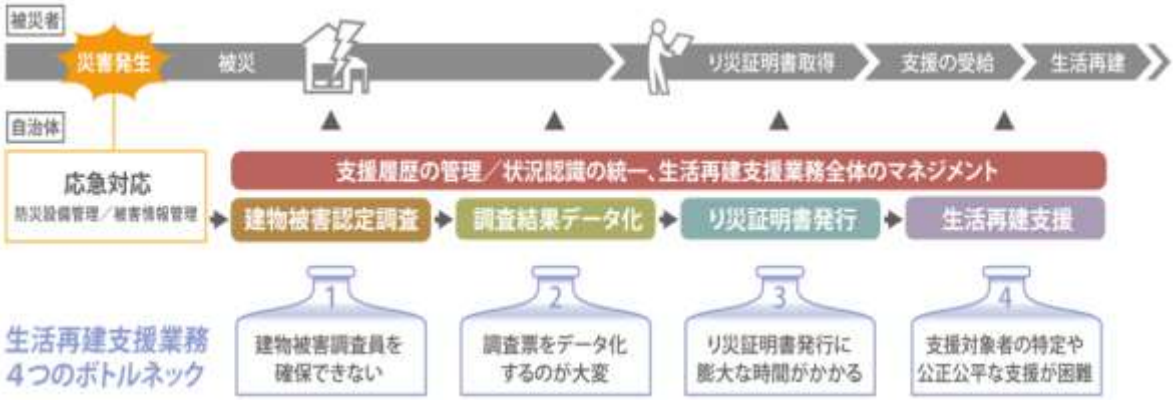
VR訓練利用者数　524人（19団体）

（令和7年11月～令和8年3月）

▶消防団員災害対応力強化事業
（VRコンテンツを使用した火災想定訓練を実施）

【被災者支援システム共同導入】

住家被害認定や罹災証明の発行などの一連の業務について、システムを活用し迅速化を図るとともに、市町村との共同導入を拡大し、応援業務の円滑化を進めています。



[共同導入自治体数]　22市町村（令和７年度）

▶被災者支援システムの県・市町村共同導入

暮らしのDX

SNSや無料配信動画サービスを活用し、伝えたい方に届くように、**啓発効果の向上**を図りました。

【SNS等を活用した効果的な啓発】

視聴傾向や利用者の属性に応じて、広告を表示し、
ターゲットに応じた普及啓発を実施しました。
令和７年度は、SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止の
啓発活動を始めました。







【令和７年度実績　各事業合計】

[表示回数]　約957万回

[クリック数]　約15万回

▶飲酒運転の根絶に向けた啓発事業、ゼブラ・ストップ活動啓発事業
電話ｄｅ詐欺等被害防止広報・啓発事業のうち、ＳＮＳ広告を活用した広報啓発活動

暮らしのDX

犯罪や事故発生状況の情報提供と、水道施設の効率的な維持管理を進め
安心・安全な地域づくりを推進しました。

【千葉県警察 くらしの安全マップ】

くらしの安全マップを
リニューアルしました。

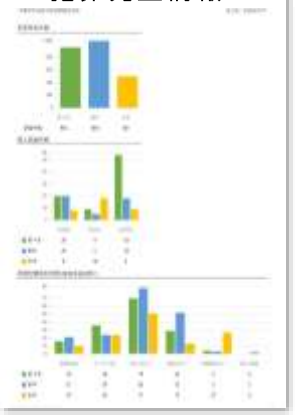
くらしの安全マップ



令和8年3月より
利用開始

地域ごとにレポートとして出力
することもできます。

犯罪発生情報



交通事故発生情報



▶くらしの安全マップによる情報提供

【ウェアラブルカメラの導入】

これまで、浄・給水場における点検や修繕等の現場作業への活用を目的に導入し、情報伝達の迅速化や業務効率化に効果が認められたため、工業用水へも導入拡大しました。







ウェアラブルカメラ導入実績

R6年度 10台 ▶ R7年度 17台

▶県営水道事業等におけるウェアラブルカメラの導入事業

暮らしのDX

いつでも何度でもAIチャットボットで福祉相談をサポートし、適切な窓口への案内を行いました。

いつでも
福祉相談サポット



【令和７年度実績】

[適切な窓口への案内] 約68%

※利用者自身が案内先窓口を正しいとした割合

[利用者満足度] 高評価率 85.8%

[利用件数] 3,636件

適切な相談窓口を案内できるよう継続的にシステム改善を実施しています。

▶ＡＩを活用した福祉相談窓口案内事業